

運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

経営トップは、安全の確保に関し主体的に関与します。

役員並びに社員は

- 1 安全は全てに優先するとの意識で職務に当たります。
- 2 関係法令・社内規程をよく理解及び遵守し、厳正に職務を遂行します。
- 3 情報は漏れなく迅速かつ正確に伝えます。
- 4 常に問題意識をもって安全運行の継続的改善を行います。

2. 輸送の安全に関する重点施策

- 1 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守します。
- 2 輸送の安全に関する支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めます。
- 3 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置または予防措置を講じます。
- 4 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有します。
- 5 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを的確に実施します。

3. 輸送の安全に関する目標及び達成状況

- 1 重大事故件数目標の達成状況

	目 標	実 績
2024 年度	0 件	0 件
2025 年度	0 件	

- 2 有責事故件数削減

	2025 年度目標	2024 年度実績
人身(車内)事故	0 件	0(0) 件
物損事故	前年度比 60%削減	21 件

目標達成に向け全社一丸となって取り組んでいきます。

4. 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統

「安全管理規程」運輸の安全に関する組織体制および緊急時連絡体制のとおり

5. 事故・災害等に関する報告連絡体制

「安全管理規程」重大事故・事件発生時の緊急連絡体制のとおり

6. 輸送の安全に関する計画及び研修の計画

・社内教育・訓練について

	項 目	実施時期	指 導 項 目
①	安全講習 (ドライブレコーダー研修を含む)	7～9月 12月～2月	国土交通省の乗務員に対する指導監督指針をもとに教育(年2回)
②	安全運転講習会	7月～9月又は 12月～3月	外部講師による安全運転講習会
③	緊急時対応訓練		ドア・非常口の操作訓練、乗客の安全確保、避難誘導、警察や会社への連絡等
④	冬季シーズン前研修 実技強化研修		チェーン脱着訓練等 山岳道路・雪山等の走行に特化した研修訓練等
⑤	安全運転研修		クレフィール湖東(交通安全研修所)
⑥	交通安全講習		講師：各警察署又は消防署
⑦	新人運転者研修		入社5年未満の運転者の実技講習

・健康管理と適性診断

	項 目	実施時期	指 導 項 目
①	生活習慣病健診	1月、適時	生活習慣病健診を含む年2回の健診
②	適性診断	適時	適齢診断：1年に1回受診 一般診断：3年に1回受診 初任診断：適時
③	ストレスチェック	9月～10月	職場のストレス状態を把握して産業医と連携

・社外講習について

	項 目	実施時期	指 導 項 目
①	運行管理者講習	適時	法令で定められた2年に1回の講習
②	整備管理者講習	適時	法令で定められた2年に1回の講習
③	NASVA 安全マネジメント講習	適時	ガイドライン・リスク管理・内部監査・リスク感受性向上セミナー、各セミナー、適性診断活用講座
④	バス協会主催等会議及び勉強会の参加	適時	飲酒運転防止研修会、労働時間等の改善基準告示に係る説明会他
⑤	近畿運輸局主催等会議の参加	適時	自動車事故防止セミナー、運輸防災マネジメントセミナー、運輸安全マネジメントセミナー

・各種運動について

	教 育・指 導	時 期	内 容
①	全国交通安全運動	4月上旬 9月下旬	広く交通安全思想の普及促進を図り、交通ルールの順守と交通マナーの実践を習慣づけるとともに、交通事故防止の徹底を図る。
②	交通事故防止県民運動	7月中旬	県民一人一人に正しい交通ルールと人にやさしい交通マナーの実践を呼びかけ県民総ぐるみで交通事故の防止を図る。
③	車内事故防止キャンペーン	7月	(乗合)ゆとり乗降の啓発、ゆとり運転の励行。 (貸切)乗客へのシートベルト着用案内の徹底。
④	年末年始の輸送等に関する安全総点検	年末年始	年末年始の安全総点検の趣旨を徹底し責任事故の絶無を図る。
⑤	全国安全衛生週間	7月	労働災害を防止し、安全水準の向上を図る。
⑥	全国火災予防運動	3月 11月	火災予防思想の普及促進を図る。車両火災を防止し、安全な輸送を確保する。

⑦	全国労働衛生週間	10 月	労働衛生に関する意識を高揚させ、運転者の健康維持を図り輸送の安全を確保する。
⑧	サービス向上運動等	1 月	お客様や地域の方々から信頼を得ることを目的としてサービスの向上を図る。

7. 2024 年度の安全に関する情報伝達

	方 法	時期	内 容
①	営業管理職定例会議	毎月	・会社内の情報共有・課題協議
②	事故防止委員会	年 4 回	・事故防止に対する対応策の検討及び策定 ・運輸安全マネジメント関係報告等を行う
③	事故防止小委員会	毎月	・事故、車両故障の原因、ヒヤリハット情報のタイムリーな共有と事故防止対策の検討
④	安全衛生会議	毎月	・従業員の労働災害防止対策実施 ・健康障害防止対策の検討・実施
⑤	CS 会議	毎月	・CS(顧客満足)推進 ・お客様の声の共有
⑥	経営協議会	随時	・労使間での協議の場を活用して、安全に対する意識と情報の共有を図る
⑦	役員巡視	随時	・役員による現場安全巡視
⑧	その他	随時	・社長・(部)部長(安全統括管理者)による示達 ・業務連絡による連絡・指示 ・ヒヤリハットの収集・共有(ドライブレコーダー画像) ・事故報告書の掲出(共有) ・苦情処理簿の掲出(共有) ・国交省メールマガジンの掲出(共有) ・運輸業他社局事故報道記事の情報共有 ・コンプライアンス関連記事の共有

8. 2024 年度の輸送の安全に関する投資及び実績額

	項 目	実 績 額
①	運行管理	貸切バス新車導入(5台)
		192,160 千円
		乗合バス新車導入(2台)
		46,090 千円
		IP 無線通信費
②	乗務員教育	1,380 千円
		ドライブレコーダー・デジタル タコグラフ保守管理
		1,190 千円
		IT 点呼キーパー導入・保守管理 (高性能アルコールチェッカー)
		1,600 千円
③	安全衛生関係	無事故に対する報奨制度
		1,880 千円
		職場危険箇所の修繕 健康診断(年2回)
		440 千円

9. 2025 年度の輸送の安全に関する投資予算額

	項 目	予 算 額
①	運行管理	貸切バス新車導入(1台)
		9,500 千円
		乗合バス新車導入(2台)
		50,000 千円
		IP 無線通信費
②	乗務員教育	1,400 千円
		スマートフォン保守管理
		1,120 千円
		ドライブレコーダー・デジタルタ コグラフ保守管理
		1,200 千円

		IT 点呼キーパー（高性能アルコールチェッカー）保守管理	1,000 千円
		点呼記録カメラ保守管理	400 千円
②	乗務員教育	無事故に対する報奨制度	2,000 千円
③	安全衛生関係	職場危険箇所の修繕 健康診断（年 2 回）	3,000 千円

10. 輸送の安全に関する内部監査

1 内部監査の実施結果(2024年度)

① 監査日時

2025年3月24日	経営トップ・安全統括管理者へのインタビュー
2025年2月20・28日	関係営業所帳票類の確認

② 監査講評及び所見

- ・経営トップ以下が現状把握に努めるとともに安全を最優先に取り組みを進めている。
運輸安全マネジメントの趣旨を十分に理解し、安全管理体制に取り組んでいることを確認いたしました。
- ・関係営業所の帳票類関係の保管状況は良好であることを確認いたしました。

2 内部監査(2025年度)

① 実施時期 2026年2月中に実施

② 監査方法 内部監査手順書に基づき監査委員による経営トップ（社長及び安全統括管理者）に対するインタビューと関係営業所への立入監査を実施

11. 安全に関する措置

- ① 車両の1.5ヵ月点検の実施（法令3ヵ月点検）
- ② 乗合バス新車購入（大型車 2台、2026年 1月予定）
- ③ 貸切バス新車購入（小型車 1台、2025年 6月予定）

12. 安全統括管理者

- ・（部）部長 上田 裕紀

13. 安全管理規程

「安全管理規程」参照

以 上